

1-3-1-01						
分類	1-3-1 給食センター			担当課	学校給食センター	
事業名	給食センター運営経費(賄材料費)					
事業内容・目的	学校給食は、栄養バランスに優れた献立を通し、成長期にある児童生徒に必要な給食を提供するとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることを目的とする。					
評価指標	1. 児童・生徒等人数等及び賄材料費					
備考						
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
実施計画	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月
目標値1	1, 892名	1, 885名	1, 899名	1, 888名	1, 887名	1, 867名
目標値2						
決算額	91,682,503	91,189,900	93,266,035	98,154,760	99,359,925	100,148,246

平成28年度実績

年間給食供給計画日数は、完全給食205日・お弁当の日5日の計210日としている。

ただし、小学校195日以内・中学校1、2年生195日以内、3年生185日以内、認定子ども園で幼稚園が185日以内とし基本的には、各学校統一している。

賄材料の内訳として、主食24,931,347円、副食60,268,041円、飲料用牛乳14,948,858円となっています。主食の割合としましては、米飯62%、パン27%、麺11%となっており米・パンの小麦粉につきましては、100%道内産を使用しております。

また、食材の野菜につきましては、54.9%道内産を使用しています。

地場産の購入につきましては、乳製品16,002,181円、鮭・ホタテの水産物等につきましては、533,520円、野菜の一部購入（別海高等学校）が43,500円で合計16,579,201円で、賄材料費全体の約16.6%が地場産になっています。

地場産の利用につきましては、少しでも多く取入れるように乳製品・魚介類・野菜を使ったメニューを考えながら努力をしているところです。

平成28年度は、味が安定するように努め、新しいメニューの提供や組み合わせで多少の残食の減少が見られたので、今後においても継続をして行きます。

また、食育を通じて食の大切さを児童・生徒等に伝えることを取り組んで行きます。

1-4-1-01						
分類	1-4-1 給食センター			担当課	学校給食センター	
事業名	給食助成事業経費					
事業内容・目的	準要保護及び特別支援教育就学児童生徒への給食費助成					
評価指標	1. 就学援助人数					
備考						
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
実施計画	○	○	○	○	○	○
目標値1	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月
目標値2	述人数129名	述人数112名	述人数125名	述人数113名	述人数136名	述人数146名
決算額	5,825,906	5,172,389	5,447,679	5,494,366	6,411,557	6,641,547

平成28年度実績

教育委員会が認定した児童生徒の保護者に対し、給食費全額を適切に助成をしました。

小学校 195日以内 (1食単価 249円)

中学校1、2年生 195日以内 (1食単価 289円)

中学校 3年生 185日以内 (1食単価 289円)

年間給食費

小学校 48,555円

中学校1、2年 56,355円

中学校3年生 53,465円

準要保護児童生徒人数 小学校 62名、中学校 34名 計 96名

特別支援学級児童生徒人数 小学校 39名・中学校 11名 計 50名

予算額6,954,000円 執行額6,641,547円 残額312,453円 (執行率95.5%)